

## 第 1 回富山県経済・文化長期ビジョン懇話会青年部会の発言とりまとめ

## 【基本目標 1】結婚・出産・子育ての願いが叶う環境整備

- ・働きながら子育てをしているお母さんに、働きながら育てる環境についてどう思うか聞いてみたところ、学校が終わってから預けられるところをせめて7時まで延長してほしい、土日出勤するので土日も預けられるようになったらいいのに、という声があった。
- ・周りに「子どもをたくさんつくったらいいよ」という話をするが、「せいぜい2人です。それ以上はお金が厳しいです」という話になる。子どもがたくさん生まれても家計が成り立つような支援が必要ではないか。

## 【基本目標 2】産業の振興、雇用の創出、県外からの移住促進

## ○産業・地域経済の活性化

- ・ものづくり県である富山県が、さらに国内でも確固たる地位を確立するようにしたい。
- ・ものづくりの科学技術を富山から世界へと発信していくために、発信できるような環境、発信できる技術、そして優秀な人材を今まで以上に醸成できるような環境があればよい。
- ・イノベーションを自社だけでは中々できないこともあるので、オープンイノベーションの仕組みを富山県でつくることできれば、ベンチャー企業が多く生まれるのではないかと
- ・東京ではM&Aや業界再編に投資をして会社ごと買って企業体力を付けるということをやっている。県内でもこうしたリスクのある投資を行えるような仕組みを作れないか。
- ・伝統工芸は、技術の遺伝子を未来へ運ぶプロジェクトだと思っている。伝統といえば富山、世界の中のデザインといえばやはり富山だよ、というような未来を創造できたらなと考えている。
- ・富山県を伝統工芸・文化の聖地（メッカ）とすべく、世界中から職人、研究者が集まるような技と知のセンターみたいなものを立ち上げていくことで、文化力を世界に発信していけると思う。
- ・経済が動くということは、魅力ある商店が一つでも多くクリエートされることだと思って、地元のお店や銀行と手を組んで、一緒にワークショップなどを行っている。
- ・ものづくりは生産性の向上ということもあるが、最終的には自然と環境を壊さない産業というところでないか。そういった最先端の技術に関わるベンチャー企業を誘致してはどうか。
- ・富山の強みである自然災害の少なさ、豊かな水資源、交通インフラといった良い点を前面に出してPRして、企業誘致に取り組んではどうか。
- ・国内外の方に富山県の農産物を売り込み、県外からの移住者を増やし、女性の方や若い方にも農業を身近に感じてもらえる機会をつくりたい。
- ・循環型農業が大切であるという理解者を増やしていくために、子どもたちが農業を理解できるような教育が必要でないか。

## ○若者や女性がいきいきと働き暮らせる魅力ある地域づくり

- ・大学に成長産業である医薬品業を担うような学生、高度ものづくりを支えるような学生たちを集めるための学部充実を考えてはどうか。
- ・富山県や県内企業の魅力を全国の学生に対して伝えていく必要がある。

- ・新卒の段階で富山の企業に就職してもらえるようにアピールをしてはどうか。例えば大学にある県人会とか、富山県の寮などを通じて、もっと広く就活生に周知するなど。
- ・県内企業が欲しい労働力を把握し、高校や大学と連携して必要な職業や必要な生徒数の確保を見通し、県立高校の在り方、再編を考えたらどうか。
- ・高校生など自分の将来を見据えた段階で県内企業との接点を持つようなイベントや就職体験をすることで、県内企業のPRにもつながるのではないかな。
- ・富山ブランドをつくり出すことで、30年後に向けた富山だからこそこれがあるというような一つのストーリーができて、ブランドとして売り出すことができるのではないかな。
- ・いかに富山の情報を発信してPRするか、富山とのつながりを感じるコミュニティーを作り広げていくかということが大事。

#### ○観光の振興、定住・半定住の環境づくり

- ・観光産業が富山でもっと発展していけば雇用の場も生まれる
- ・本県の観光を押し上げるのにまだまだ手薄だと思うが、同時に、非常に伸びしろが大きいということだと思う。全国でも屈指の観光資源の多いところであり、アピールの仕方によっては、世界の中でも十分その存在感を示すことができる。
- ・石川県の加賀屋のような目玉になるようなホテル・旅館も足りないのではないかな。

### 【基本目標3】女性・高齢者など多様な人材確保と労働生産性の向上

#### ○女性が輝いて働ける環境づくり

- ・女性の雇用率が高い、あるいは復職率が高い企業には、税制面や助成金などの優遇があってもよいのではないかな。

#### ○高齢者等が能力を発揮して活躍できる社会の実現

- ・シニア世代の企業支援を進めることで、伝統技術、ノウハウの継承や、労働生産性の維持・向上にもつなげていけるのではないかな
- ・元気で社会に必要とされる生涯現役がナンバーワンの県であることを目指すべきでないかな。

#### ○多様な人材の確保と労働生産性の向上

- ・各々が生産性向上を推進することで、県全体の生産性の向上につながっていくのではないかな。
- ・海外の市場でシェアを奪っていきけるようにするためには、人の教育をもっとグローバルにしていく必要がある。
- ・多くの中小企業にたくさんの外国人を受け入れてもらい、富山のことを知る外国人を増やし、帰国してから富山の良さをPRしてもらえばよい。
- ・海外の友人や留学生が、富山に住みたいという環境、来県する環境をどのようにつくれるか。国際色豊かな都市を実現すること、海外の人に富山で創業してもらおうなど。

### 【基本目標4】地域の基盤強化・魅力向上

#### ○交通ネットワーク整備と活力あるまちづくり

- ・富山では車がないと交通にもすごく不自由する。例えば観光地がたくさんあるが、どこに観光地があるかが分かりにくく、車もないのでどうやってそこまで行ったらよいのか悩む。例えば、はとバスのようなものがあれば、東京からのゲストの方を連れていってあげるとき

にもよいのではないかと思う。

- ・富山の風景、散居村の景色は本当に美しく、これは本当に残していかなければいけない。

#### ○健康でともに支えあい安心して暮らせる社会の形成

- ・10年後、20年後、30年後の富山県は健康寿命日本一の県であってほしい、健康で安心して生きられる県、より住みやすい県というイメージを高める。

#### ○地域を担う人づくり

- ・教育に関しても他県とは違う、富山県ならではの教育プログラム、義務教育ではなく富山県はこんな子どもの育て方をするのだね、面白いねということで、人が富山に住んでくれるような教育プログラムもできたらよい。
- ・創造することに価値があり、幸せや豊かさにつながるということを今の子どもたちに伝えていくことが大切、お国自慢できる子たちが、どんどん増えていくことが期待できるのではないかな。
- ・地元愛とか、祭りとか、そういうもので次世代にとやまの魅力を感じてもらえようか。
- ・自分の意見を他人にちゃんと伝える力を付けるといったことを教育することが重要。
- ・文化の向上という意味で、東京と富山はレベルの違いがすごくあり、まちのセンスの向上も必要ではないか。
- ・富山の文化的な未来、日本の文化的な未来は、過去に地域が持っている歴史にあると思う。
- ・県と大学は、特に文化的な文系の研究などについて、もっと提携して、協力していかなければいけないのではないかな。

#### 【富山県経済・文化長期ビジョン懇話会・青年部会】

地方創生の議論と並行し、新幹線開業後の新しい富山県の長期ビジョンを議論し、方向づけしていただくため、経済・文化やこれらを担う人づくりなどを中心に、県内有識者はもとより、県外の本県ゆかりの方など参画いただき、議論、提言いただくための場として平成27年10月1日に「富山県経済・文化長期ビジョン懇話会」を設置。

また、富山県の長期ビジョンを策定するうえでは、将来を担う次の世代の意見を反映していく必要があることから、若者世代の議論・意見の場として青年部会（委員構成は県内在住の20歳代後半から40歳代前半の男女30名）を設置。

本資料は、平成27年11月9日（月）に開催された第1回青年部会での意見を「とやま未来創生戦略」の基本目標順に再構成したもの。